

## これまでの航空連合の産業政策提言と主な成果(地方政策)

提言	具体的な提言、主張内容(概要)	主な成果
<b>働きやすい空港づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員エリアへのAED設置と認知度向上(福岡)</li> <li>・中部空港ランプ内における安全性向上(愛知)</li> <li>・ターミナルエリアと貨物地区を結ぶGSE通路の改善(北海道)</li> <li>・託児所の空港施設内への設置(東京)</li> <li>・視認性の低い車両通行帯への対応(成田・愛知・大阪・福岡)</li> <li>・トラック渋滞により危険度が増している南部貨物地区における歩行者の安全性確保(成田)</li> <li>・羽田空港J-K誘導路横断通路の安全で効率的な横断方法への変更(東京)</li> <li>・航空機用のグランドアースポイントの設置(福岡)</li> <li>・ランプ内の水はけの悪い場所や段差のある場所の改修(全組織)</li> <li>・貨物ゾーティングエリアの施設改善による安全性・生産性の向上(愛知)</li> <li>・空港職員の通调用駐輪場の整備、改善(福岡)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡空港従業員エリアへのAED複数台設置(2024年)</li> <li>・伊丹空港第2フィンガー軒下に横断歩道を設置(2024年)</li> <li>・中部空港PBBゼブラゾーンの拡充(2024年)</li> <li>・事前予約システムを導入し、成田空港内へ入場するトラック台数を管理(2023年)</li> <li>・貨物地区から国際線ターミナル側への通行が可能(2018年)</li> <li>・羽田空港第1ターミナルに保育所を設置(2007年)</li> <li>・羽田空港J-K誘導路横断通路のサービスレーン化(2019年)</li> <li>・関西空港に託児所を設置(2017年)</li> <li>・中部空港スポットの通行帯照明が新設(2022年)</li> <li>・ビーズ入りや蛍光塗料等による塗装</li> <li>・羽田空港・成田空港ランプ内不鮮明箇所のリペイント(2021年)</li> <li>・国管理空港におけるアースポイントの設置完了(2016年)</li> <li>・ランプ内の改修による段差等の解消(各空港)</li> <li>・貨物ゾーティングエリアの段差解消(愛知)</li> <li>・福岡の空港職員用駐輪場の整備(2015年)</li> </ul>
<b>お客様にやさしい空港づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出発ロビー保安検査場の混雑解消(北海道・沖縄)</li> <li>・無料Wi-Fiの内際共通化(東京)</li> <li>・直線距離が長い通路へのムービングウォークの配備(大阪)</li> <li>・利用者目線での分かりやすいターミナル案内板への変更(成田・大阪)</li> <li>・ターミナル内におけるAEDの適切な設置(成田)</li> <li>・キャッシュレス決済対応の自動販売機の設置(成田)</li> <li>・第2ターミナル化粧室のドア改修(成田)</li> <li>・空港内飲食店の営業時間の見直しや薬局等の設置(東京・成田・沖縄)</li> <li>・エレベーターの増設・大型化、エスカレーターの増設・双方向化など空港のバリアフリー化の推進(全組織)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保安検査場の増設や施設改修の実施</li> <li>・羽田空港の無料Wi-Fi共通化と合わせて、通信環境が改善</li> <li>・伊丹空港におけるムービングウォークの設置</li> <li>・成田空港における乗り継ぎ案内表示の改善、神戸空港におけるゲート案内表示の大型化</li> <li>・成田空港バスラウンジへのAED設置(2015年)</li> <li>・成田空港国際線出発エリアにおけるキャッシュレス決済対応の自動販売機の設置(2021年)</li> <li>・成田空港第2ターミナル化粧室ドアを折れ戸タイプに改修(2022年)</li> <li>・羽田空港国内線ターミナルにおけるコンビニエンスストアの新設(2019年～2020年)、成田空港における24時間営業のコンビニエンスストアや飲食店の新設(2015年～2016年)、新石垣空港における薬局の新設(2015年)</li> <li>・バリアフリー化の推進</li> </ul>
<b>空港アクセスの整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎大師～羽田空港のアクセス改善(東京)</li> <li>・県外利用客の空港アクセス利便性向上(松山＝本部直轄)</li> <li>・新千歳空港の始発便に合わせたJR運行時間の変更(北海道)</li> <li>・羽田空港内のターミナルの色分けに応じた循環道路における路面と看板の表示や色の統一(東京)</li> <li>・川崎方面と羽田空港をつなぐ橋の新設(東京)</li> <li>・京浜急行穴森稲荷駅へのホームドア設置(東京)</li> <li>・東京モノレール新整備場駅のバリアフリー経路の確保(東京)</li> <li>・羽田空港第1・第2ターミナル駅の英語表記改善(東京)</li> <li>・成田空港の検問ゲート見直し(成田)</li> <li>・空港周辺道路の混雑解消(成田)</li> <li>・空港第2ビル駅の二重改札の解消(成田)</li> <li>・成田空港の夜間飛行制限の緩和に合わせた最終電車の時間延長(成田)</li> <li>・中部国際空港連絡道路の通行料値下げ(愛知)</li> <li>・ターミナル間のシャトルバスの混雑緩和(福岡)</li> <li>・従業員駐車場の拡充(沖縄)</li> <li>・ゆいレールでの交通系ICカードの利用(沖縄)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京急バス「大師前駅～羽田空港T3」路線の新設(2024年)</li> <li>・穴守稲荷駅ホームドア整備工事開始(2026年完成予定)</li> <li>・伊予鉄バスへの全国共通IC導入(2023年)</li> <li>・始発便に合わせたJR北海道ダイヤ改正と快速「エアポート」の増発(2020年)</li> <li>・路面と標識の色の統一</li> <li>・羽田空港と川崎市殿町地区を結ぶ「多摩川スカイブリッジ」が完成(2022年)</li> <li>・東京モノレール浜松町駅改札とJR改札との乗換口の改善(2018年)</li> <li>・東京モノレール新整備場駅の改札から地上に上がる連絡通路の段差にスロープが設置(2019年)</li> <li>・羽田空港第1・第2ターミナル駅の英語表記をわかりやすく修正(2021年)</li> <li>・成田空港のノンストップゲート化と、道路上の色分け標示によるターミナル行先の明確化(2015年)</li> <li>・空港周辺道路の右折レーンの増設による混雑解消(2014年)</li> <li>・空港第2ビル駅改札内の動線変更により二重改札解消(2019年)</li> <li>・京成線、JRともに、空港運用時間に合わせた最終電車を設定(2019年)</li> <li>・中部国際空港連絡道路の通行料金の値下げ(2017年)</li> <li>・シャトルバス乗り場に誘導員を配置、バスを2台増車(2017年)</li> <li>・新石垣空港の従業員用駐車スペースの拡充(2016年)</li> <li>・ゆいレールでのSuicaをはじめとする交通系ICカードの利用開始(2020年)</li> </ul>
<b>地域観光の振興</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光産業の育成・発展のため、観光ガイド養成等の人材育成機関の設置(沖縄)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄観光コンベンションビューロー内に観光人材育成センターを新設(2006年)</li> </ul>
<b>人材確保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空業界における人材確保施策の実施(成田)</li> <li>・空港業務の人材確保につながる施策の実施(北海道)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と空港活用協議会の連携による出前授業や体験型航空教室など就業先としての意識醸成を図るキャリア教育を実施(2024年)</li> <li>・グランドハンドリング人材の認知度向上や職業観形成のための支援措置(2023年)</li> </ul>



▲北海道庁への要請行動(航空連合北海道/2024.4.30)

### 航空連合地方組織

